

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第59号 2019年10月17日発行

+++++

初秋の南フランス旅行を楽しんできました。ゴッホ、セザンヌ、ルノワール、マチス、シャガールの創作の現場と画家人生の到達点を解説付きで見られて、とても良かったです。美しい村、小さい村も訪ねましたが、伝統を継承しているところと商業主義に抛り過ぎているところがありました（写真）。しかし、日本の村が自らの歴史を軽んじ、伝統的知識・技能に誇りを失っているようなので、村への思い入れにおいて、フランスの村にはとても及ばないと思いました。

スーパー・マーケットにはキヌアやアマランサスが多く置いてありました。ソバ、キビは少なかったです（写真）。雑穀の近縁雑草コスモポリタンはまれに見られましたが、地中海式気候ではサバンナの植物が確かにまれであることが理解できました。樹木では、プラタナスの並木、キョウチクトウが多く、畑にはブドウ、オリーブ、アーモンド、ヒマワリが多く、イチジク、メロンもありました。ラベンダーなどの匂いの良い石鹸や香水は各地で売られていました。

台風一過、博物館には雨が降り込んだようで、床が濡れていました。小菅の畑にはしばらくいけなかったのですが、イノシシにほとんどの作物がなめるように食べられて、収穫は無きに等しいです。今年の天候では野生動物も大変だったのでしょうか、結果として私たちは有機野菜の飢饉に陥りました。ついに縄文の森の畑は耕作放棄することになりそうです。雑穀は何重にも網をかけておいたので、被害をおおよそ免れました。アワ、キビ、ヒエ、シコクビエ、モロコシ、ハトムギの種子が欲しい方にはお送りします。ぜひ来年に栽培して増やしてください。

植物腊葉標本の他、写真スライドなど、図書を整理しています。これらを利用していただくとうれしいです。会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人にぜひ広く転送伝達していただくとありがたいです。

○報告

雑穀街道の普及

1) 上野原市農業委員会会長と富澤さん、木下さんや黒澤さんらが9月25日に協議をしました。西原の中川さんの畑で、雑穀を収穫しながら、今後の相談をしようとのことです。日程は未定ですので、ご参加いただける方はご連絡ください。日程など決まり次第お知らせします。

また、エコムの森さんが2017年に続いて、雑穀栽培者取材し、会報に掲載してくださるようです。雑穀街道普及会はさらに雑穀栽培者と賛同者を増やすように、再度、日本村塾（民族植物学・自給農耕ゼミ）の活動を活発にして、雑穀街道地域における在来作物の普及・啓発に協力したいと思います。雑穀街道普及会にご参加くださり、ご協力をお願いします。

2) FAO 世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道普及会』の資料を充実しています。雑穀街道に関する趣旨説明や植物と人々に関する自然誌・文化誌の講義など、博物館担当研究員が無償出張で行いますので、ご連絡ください。

推薦書をタイのラダワン先生は環境学習の場として評価してくださるよう書いてくださいました。雑穀街道普及会ホームページに掲載しました。

3) 『土と育つ子供たち』(額額あや監督) を小金井のカエル・ハウスで視聴しました。自由学園初等部の子供たちの屈託のない野良仕事記録されています。こうした活動が楽しい人生の基礎になるのだと思います。監督の話では、この映画は小菅村教育委員会後援で、小菅村でも視聴され、嬉しいことに視聴の推薦仲介者は冒険学校参加者の父母だそうです。

4) 自分で考える日本国憲法：インドの憲法を起草したアンベードカルに触発されて、日本国憲法について考えてみました。徴兵された父祖に、若い頃なぜ戦争に反対しなかったのかと言ったようです。自分が父祖となった今、子供たちから、なぜ環境問題の解決に努力しなかったのかと言われてたくはないので、日本国憲法について加筆修正の提案を書きました。ちなみに、担当者は有名なグレタさんより若い中学生のころから環境保全活動をしていましたが、当時も現在でも、大人にも子供にもさほどの関心を持ってもらえなかったです。でもすべては本質的に自分事ですから、他人に抛らずに自ら満足すればよいと考えています。 www.millemimplic.net/Jpnconst.html

○予定

1. 植物と人々の博物館

1) 開館・作業予定日：2019年10月16日、25日、11月1日ほかの予定(原則金曜日)です。植物と人々の博物館/森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしくお願ひします。ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。森とむらの図書室(小菅と藤野)では順次資料の整理をし、蔵書リストはホームページで公開しますので、ご利用ください。

場所は小菅村井狩集落バス停近く、細川邸の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。

2) 極小展示(準備中)：ヨーロッパの観光旅行で集めた小物工芸品など

2. 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。特に、家族農業(小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン)について学びたいです。このネットワークには個人で賛同し、ホームページに意見を掲載していただきました。

<https://www.sffnj.net/single-post/2019/05/01/voice-mikio-kimata>

3. 雑穀街道普及会

賛同者を広く募っています。FAO 世界農業遺産申請に向けて賛同が広がるようどうぞご援助くださいますようお願いいたします。FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いいたします。

また、普及作業と一緒にしてくださるとありがたいです。

下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

ご確認の上で、賛同の意思表示をお寄せいただければ幸いです。

<http://www.millettimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第3章関東地方・第4章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.millettimplic.net/milletworld/milletn/jnmpilvil.html>

4. 民族植物学ノオトは次の第13号からは電子出版のみにする予定ですが、原稿は年末までの受付予定です。いつでもご寄稿を歓迎します。①南アジアの植物信仰、②まねごと山村農などを準備しています。

これまでのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ（ミュージアムグッズ）で読めます。国会図書館にも全号所蔵されています。さらに国会図書館のオンライン資料に URL を登録します。バックナンバーは僅少ですが、希望者に差し上げます。メールマガジンもすべて記録してあります。会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

5. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえ、自由に書いています。「第10章バングラデシュとスリランカ」を公開しました。今は、補論北東諸州についてまとめています。『日本雑穀のむら』は第5章中部地方の雑穀文化複合、補論3副食主菜の起源を検討しています。『第四紀植物』および“Essentials of Ethnobotany”はまだ非公開ですが、栽培植物の起源の進化植物学、伝播の民族学などを書き進めています。これらは、下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで読めます。『環境学習原論—人世の核心』（2019）は自然文化誌研究会の冒険学校の到達点でもありますので、是非一読いただきたいです。今のところ出版の意思はなく、いずれ国会図書館のデジタルに登録します。引用してくださる場合は、順次必要に応じて改訂していきますが、とりあえず「木俣（2019）」としてくださるようお願いいたします。

6. 森とむらの図書室

安田喜憲先生から御著書『水の恵みと生命文明』、長浜功先生からは御著書『大志の細道—十年前の最終講義 Boys be ambitious』をご寄贈いただきました。南アジア、日本国憲法関連の書籍を整理し、書架に入れます。

○ お知らせ

1. 家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン第2回総会・学習会

日時：10月10日（木）11時から14時45分 場所：衆議院第2議員会館第2会議室
国連家族農業の10年について詳細な解説がありました。参加者は40人ほどで、規約や理事などを決めました。ご関心の方は是非ご入会ください。連絡先は下記です。

E-mail: info@ffpj.org URL: <https://www.ffpj.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/ffpj2019/>

Twitter: [@FFPJ2019](https://twitter.com/FFPJ2019)

~~~~~  
自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージーズ研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人 HP：生き物の文明への黙示録

<http://www.milletimplic.net/>

~~~~~  
写真：



雑穀見本園 9月10日



BIO 食材穀物、キビ（€／500g）もある、花束、コムギやキビ（€）の穂もある。



南フランス、プロヴァンスの美しい村ルシヨン



コートダジュールのエズ村のフラゴナール香水工場直売所